

## 《外国の昔話》

小野田照代 （長岡京市民大学 2020年2月27日）

古来、民衆の昔話は口承で伝えられてきた。貴族の文学が文字で大切に残されてきたのと対照的に、上流階級からは価値のないものとみなされてきた。しかし、多くの優れた文学作品は、その時代の民衆の語る物語を基礎とし、そこに文学的インスピレーションを加えて書き上げたものである。グリム兄弟は、19世紀初め、ドイツ地方に散らばるたくさんの民衆のお話を貴重なものとみなし、方言で語られているものを文字に書きとめて採集し始めた。

### グリムの昔話

ヤーコブ・グリム (1785-1863)  
ヴィルヘルム・グリム (1786-1859)  
神聖ローマ帝国 ヘッセン侯国 ハーナウ生まれ  
同時代人:ゲーテ ハイネ シラー ベートーヴェン

「グリム童話集」 —子どもと家庭のメルヘン—

初版	第一巻	(1812)	86話	
	第二巻	(1815)	70話	計 156話
七版		(1857)	200話	

### フランスの昔話

シャルル・ペロー (1628-1703) グリム兄弟に先立って童話集を出す。

### イギリスの昔話

ジョセフ・ジェイコブス (1854-1916) によって採集 「イギリスの妖精物語」 (1890)

### アイルランドの昔話

ウィリアム・イエーツ (1865-1939) によって多くの民話と妖精物語が採集された。  
これより前にクローカーによる妖精物語はグリムがドイツ語に訳している。

その後世界中のあらゆる地域でも、一世紀ほど遅れて次々と民話の出版がなされた。今ではどんな国の昔話でも読むことができ、その国の文化を知ることができる。

#### 本日のお話

ラプンツェル	グリムの昔話	おはなしのろうそく (東京子ども図書館)
ちいちゃい、ちいちゃい	イギリスの昔話	イギリスとアイルランドの昔話 (福音館書店)
ベッチイ・ストーグの赤ちゃん	イギリスの昔話	新編世界の昔話集 イギリス (社会思想社)